

## 先輩の見守りと声かけが、 成長の力に

### 1. はじめに

本誌の60周年を記念して、これからの職業訓練の担い手である若手指導員の本音を聞くインタビュー記事の連載を、前号からスタートしています。「若手指導員の声」と題し、先輩からかけてもらった印象深い言葉や、嬉しかった対応などをお聞きします。若手指導員とベテラン指導員の架け橋になることを期待しています。第2回では、三重職業能力開発促進センターの金森智紀指導員にインタビューを行いました。

#### 【金森智紀指導員のご紹介】

職業能力開発総合大学校卒。初任地は現在の三重職業能力開発促進センター。指導員歴は4年目。趣味は筋トレとトレイルラン。自然の中を走る爽快感や、ゴール直前の苦しさを乗り越えてゴールしたときの達成感が好きだそうです。

### 2. 近況について

「技能と技術」誌編集部（以下「編集部」）指導員歴は4年目なんですね。

金森智紀指導員（以下「金森」） はい。

指導員歴は4年目です。最初の2年間は電気施工技術科という企業実習付きコースを担当していました。その後、電気設備技術科を担当しております。

編集部 現在のご担当は？

金森 ケーブル工事や引込口工事などの電気工事に

関する訓練とシーケンス制御やPLCなどの電気制御に関する訓練を担当しています。同じ内容の訓練を繰り返し担当する中で、少しずつ担当できる訓練が増えていきます。

編集部 先輩指導員の年代は？

金森 電気・電子系には30代、50代、60代と幅広い年齢の先輩指導員がいます。先輩方の趣味も麻雀や山登りなどさまざまで、そういった話を通して和気あいあいとコミュニケーションを取ることができ、話しかけやすく、相談しやすい環境で仕事をさせてもらっています。

### 3. 赴任直後の様子

編集部 赴任直後に心配や困り事はありましたか？

金森 自信のない訓練内容を担当することになったとき、どのように進めればよいか困りました。

編集部 どんなことに自信がなかったのでしょうか。

金森 現場経験がなかったり、訓練内容に関して知識不足なところもあったりしたので、自分の説明になかなか自信が持てなかったです。

編集部 先輩に相談しましたか。

金森 はい。先輩にいろいろ聞きましたし、研修に行っておんだことを参考にしながら取り組みました。同じ研修に参加した同期と意見交換もしました。

編集部 研修には行きやすい環境ですか？

金森 はい。研修に行きやすい環境があるので助かります。

編集部 先輩からの助言などで勇気づけられたことはありますか？

**金森** アビリティ訓練で使用する自動火災報知設備の資料をより充実させようと思い、図を追加したり、自主的に作成していたところ、先輩指導員の方から「自主的に資料を作成してくれた新人は、きみが初めてだ」とほめていただき、とても嬉しかったです。

**編集部** 完成した資料を見てもらったのですか？

**金森** いえ、8割ほど完成したところで見てもらいました。

**編集部** こうしようと思っている、というレベルではなく、8割も作ったところで見せたことが良かったのかもしれないね。自発的に行動できていることが伝わりますね。資料はなぜ作成しようと思ったのですか。

**金森** アビリティ訓練で質問を受ける中で、図や写真を追加するなど、資料をより分かりやすくする工夫が必要だと考えたためです。特に電気工事の実習では施工手順が多く、一度の説明だけでは理解しきれない訓練生もいます。また、訓練生が30人近くいるため、質問しにくい方は作業が止まってしまい、結果として遅れにつながることもあります。そのため、資料は写真を中心に施工手順を示し、吹き出しでワンポイントアドバイスを添えるようにしています。説明だけでは理解しきれない方でも、資料を見ながら自分のペースで作業を進められるよう工夫しています。さらに、こちらが想定していない箇所をつまずくこともあるため、その内容をメモしておき、訓練終了後に写真付きで追記するようにしています。もともと資料の構成や作成手順をイメージしやすい内容だったこともあり、自主的に作成を進めることができました。

**編集部** 前向きでいいですね。印象深い先輩の言動はありますか。

**金森** 1年目の、右も左も分からない状態で訓練の準備や実施をしていたときに、指導の様子を見守っていただき、訓練終了後には指導方法についてフィードバックをしていただいたことがとてもありがたかったです。うまくいかなかったところについては、「自分も最初はうまくいかなかったから大丈夫」と声をかけてもらい、励ましていただきました。

**編集部** 優しい言葉ですね。

担当していて楽しい訓練は何ですか？

**金森** 電気工事です。訓練生によって得意な方や苦手な方がいるのですが、どのようにすれば上達するかを伝え、実際に上達する姿を見ると、指導するやりがいを感じます。また、最初の頃の訓練では、説明不足なところもあり、施工手順が理解できていない訓練生もいましたが、回数を重ねるにつれ、作業に関する質問や戸惑う訓練生が減っていることを自分でも感じています。

**編集部** 訓練生からはどのような反応がありますか？

**金森** 訓練修了時のあいさつで大変な訓練もあったが楽しかったと嬉しい感想をもらうことがあります。

**編集部** 担当していて大変な訓練は何ですか？

**金森** 大変なのはセミナーです。現場経験が十分ではないため、どうすればよいか困ることがありますが、先輩に聞きながら進めています。同じセミナーを3、4回実施させてもらい、少しずつ担当できるようになってきました。

#### 4. 理想の先輩像

**編集部** どんな先輩になりたいですか？

**金森** 自分がしてもらったように、訓練のことだけでなく、趣味のことなど、いろいろなことを話せる、相談できる先輩になりたいと思います。

**編集部** 幅広い年代の先輩方に温かく見守られながら、指導力を磨かれている様子が印象的でした。お忙しいなか、ありがとうございました。